

のき 議うご

上島町議会

平成26年 第1回定例会

本定例会は3月10日に招集され、会期を11日間と定め、審議等を終え閉会しました。なお、行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

上村町長の行政報告

春の息吹と共に、新たな旅立ちと出会い、多くの夢と情熱に溢れる時候になってまいりました。本日は、平成26年上島町議会第1回定例会を招集いたしましたところ、全員の出席をいただきまして誠にありがとうございます。

まず、平成3年3月に「上島諸島架橋推進協議会」が発足して以来、約23年の月日を経て、上島架橋岩城く弓削線の愛称が「ゆめしま海道」に決定いたしましたことを改めてご報告いたします。約300件の応募の中から、上島町のイメージにふさわしい名前が選ばれた事は大変喜ばしく、応募いただいた全国の皆様や、これまで架橋の促進に携わってこられた方々に、改めて御礼申し上げます。

12月定例会後の行政活動内容や資料についての詳細は、上島町ホームページ内の町長活動報告にて代えさせていただきます。この場においては主要事項のみを報告させていただきます。

昨年12月24日、政府は平成26年度予算案を閣議決定しました。本年2月28日に衆議院本会議で可決され、憲法の衆院優越規定により3月中の成立が確定しました。

一般会計総額は、前年度比3.5%増の95兆8,823億円と過去最大規模となっており、地方財政に直結する地方交付税は、出口ベースで16兆8,

855億円と、前年度よりも1,769億円(△1.0%)少なくなっており、2年連続の減額となっています。これは、景気の回復により地方税収が増え始めたことから、地方交付税の別枠加算を縮減(1.0兆円↓0.6兆円)したことによるものです。

年が明けて1月3日、平成26年の上島町成人式が行われ、新成人になられた35名の皆さんの門出をお祝いしました。当日は、厳かな雰囲気の中、規律正しく振る舞う新成人に、今日まで頑張ってきた事への敬意と、明るい未来を祈念しメッセージを送りました。

1月6日、平成26年仕事始めの全体課長会の挨拶で「上島町は財源が少なく都会のような利便性にも恵まれていません。そのような上島町が他の自治体と同じ様なことをしていたのでは、世間に埋没してしまい、生き抜くこともできません。多少バランスが悪くても「特化」すること、あるいはメリハリを付けることで、どこか自治体にも負けないブランド力を身につけ、その力で誰のよう正面突破し展開する事が重要です。その手段として本年は「上島町合併10周年」と「瀬戸内しまのわ2014」が絶好のツールとして与えられているので、全課で活用し「瀬戸内海上島町あり」ということを全世界に発信していきましょう。」との方向性を職員に伝えました。

1月6日から7日、上島町内において、陸上自衛隊第14特科隊の上島町災害対策に対する訓練が実施されました。

自衛隊員のどんな環境でも高い士気を保つ姿を目の当たりにして、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

1月15日から17日にかけて上京し、各省庁等へ挨拶回りと陳情を行いました。今回の主な目的は、普通交付税算定



陸上自衛隊松山駐屯地
第14特科隊第2中隊年頭訓練



平成26年上島町成人式

方法の見直しについて、離島の現状を反映して上島町の実情を国の担当課に直接訴えかけることでした。

ご案内のとおり地方交付税については合併特例法に基づき、上島町合併後、11年目を迎える平成27年から段階的に減額され、平成32年には純粋に一つの自治体として一本算定され配分額が大幅に減額される見通しとなっています。

しかし、未だ旧3町村が海で隔たれている形態を持つ上島町にとって、合併による行政機能の更なる効率化は非常に困難です。これまで血のにじむような行政改革を行っており、これ以上の歳出削減は、住民サービス機能が著しく低下し、ひいては地域社会を守れなくなる恐れがあります。各島の総合支所の機能維持や町民の安心・安全のためには欠かすことのできない救急艇2隻の配備、一般廃棄物処理場の統合による海上輸送のほか、学校等運営についても統廃合が難しいなど、市町村合併施策の効率化予想に反し、陸地部の市町村とは異なる「離島が故の非効率な行政構造」が継続しています。

こうした中、上島町は合併後10年が経過する平成27年度以降5年間で特例措置分が段階的に縮減され、現在32億円で歳入予算の46%を占める普通交付税が、平成24年度交付決定額での「二本算定」と「合併算定替え」の比較では、約7億5,000万円もの大幅な減額が見込まれています。

特例措置「合併算定替え」の段階的終了への対応については、面積が広く人口密度が低い自治体への配慮がなされると聞いておりますが、その面積の中に行政機能の効率化を阻む「海の面積」を加えること、また、離島が故の非効率な行政構造への関連経費増加に配慮した補正を検討していたべくよう、総務省の交付税担当者要望書を直接手渡し、説明を行いました。

1月19日、恒例の上島町駅伝大会が開催され、県内外89チーム約490名の参加がありました。回を重ねるごとにチーム数、参加人数も増え続けており、主催者側もうれしい悲鳴をあげています。ボランティアで運営に携わっていたいた愛媛県

警・白バイ隊や交通安全協会
弓削支部、体育協会をはじめ
とする関係者の皆様に、あら
ためて御礼を申し上げます。

1月21日から22日にかけて、
事前協議を行っていた資料に
よる予算査定を行い、上島町
平成26年度当初予算案を、一
般会計予算総額、73億3,1
00万円（前年度比16・5%
増）としました。

歳入では、地方交付税が増
加しているものの、町税等自
主財源比率は29・4%と依然
として少なく、基金繰入金を除いた実質的な自主
財源比率は13・8%に過ぎず、今まで同様、国や
県に依存している体質は、弾力性に乏しい状態が
続いています。

まちづくり懇談会等においても資料により説明
させていただいたように、自治体独自の施策を除
き、特別会計事業については独立採算が基本です。
しかし、上島町では予算概要説明書の繰出金の項
目資料にあるように、赤字が続いている会計が多
くあります。特に国民健康保険事業会計や公共下
水道会計については、自由に使える財源である一
般会計からの繰入金が1億円を超えています。し
かも他の市町と比較しても受益者負担額が少ない
ため、国保税や使用料等の値上げによる財政運営
の見直しが喫緊の課題です。

私達の子供や孫に必要以上の負担をかけない為
にも、どうか町民の皆様のご理解をいただきたい
と思っています。

歳出では、政府が消費税率引き上げに伴う景気
の腰折れを回避し、大規模な経済対策を決定した
その目的を実現するため、本町においても、町内
経済の基盤を強化し、景気の上昇を図るため、社
会資本整備等の普通建設事業費に19億4,760
万円（前年度比57・3%増）計上しています。

また、社会保障と税の一体改革及び地方消費税
引き上げ分の地方消費税収を、社会保障や子育て



第57回上島町駅伝大会

支援、教育など、住民に基礎的なサービスを充実
させ提供できるようにしています。

さて、平成26年度上島町当初予算案の特色の一
つとして、交付税措置を念頭に置いた「瀬戸内し
まのわ2014」や「合併10周年記念」の事業展
開があります。

これは、2月18日、県庁において、県内各市町
の首長と知事をはじめとする県幹部との懇談「え
ひめトップミーティング」においても重要課題と
して取り上げられているものです。

特に、瀬戸内しまのわ2014については、イ
ベントの調整・準備などを、関係市町の協力を得
て順次進めているとの説明を受けるとともに、主
なイベントや各市町・民間の企画イベントについ
て確認を行いました。

また、「愛媛マルゴト自転車道」計画により、
県下全域で自転車道やサイクルオアシス等を整備
することも確認しました。このように「瀬戸内し
まのわ2014」は愛媛県と広島県が自治体の垣
根を越えて共催するという、稀で大きく注目され
ている事業であり、もちろん国の支援もあります。

これは、上島町にとって千載一遇のチャンスであ
り、日本のみならず世界に上島町を情報発信する
素晴らしい年になります。言い換えれば、平成26
年度に上島町が全力を尽くさなければ、絶対の機
会を逃すこととなります。幸いにも、町民の皆様
のご理解により上島町のサイクリングへの環境は
熟度が高く、愛媛県によるブルーラインの設置な
ど、他町村に先駆けて予算化されています。

昨年の9月議会において「上島町海の駅舎実施
計画策定業務委託」のご承認をいただき、その計
画の具体策として、平成26年度当初予算に、「海
の駅舎」関連予算として計上しているのも、サイ
クルオアシスとしての機能を合わせ、これからの
観光客を呼びこむ重要なタイミングとしているか
らです。この「海の駅舎」は観光客の休憩所や観
光情報提供の場として、町外のみならず海外か
らのお客様やヨット・シーカヤック・サイクリン
グ等の利用者に対応することはもちろんですが、
それ以上に町民の皆様同士で、あるいは町民と町

外のお客様が交流する場所として活用することが
目的です。今までもヨットやボートのお客様から、
町民の皆さんと触れ合う機会がほしいとの要望が
ありましたが、気楽に話ができる場がありません
でしたので、今回提案しております。

「えひめトップミーティング」における、各市
町からの協議事項については、上島町から2点発
言させていただきました。1点目は「公共交通の
格差是正について」であり、「全国の離島航路・
航空路・またその島々を結ぶ橋は、離島に欠かせ
ない交通手段です。改正離島振興法第1条の目的
に明記されている「人の往来及び生活に必要な物
資等の輸送に要する費用が他の地域に比較して多
額である状況の改善による地域格差の是正」にあ
るように、離島航路の「JR並み料金」の実現に
向け、県一体となつて取り組んでいくこと」を提
案しました。

2点目として、地方交付税の合併算定替えにつ
いて意見を求められたので、「町村合併の理想と
現実の違い、離島が故の非効率的な行政構造」に
ついて発言し、知事からは、市町と連携を密に、
前向きに取り組んでいきたいとの回答がありまし
た。

2月19日、全国町村会館において、全国離島振
興協議会正副会長会議が開催され、「平成26年度
事業計画や収支予算について」、「平成26年度通
常総会について」の協議を行いました。

これは、平成26年度の事業運営にあたり、関係
公共事業並びに離島活性化交付金をはじめとする
ソフト事業予算の必要額を確保し、地域の実情に
応じた各種事業実施により離島定住を確かなもの
にするためです。

また、会議途中で自民党本部において開催され
た「離島振興特別委員会」に出席しました。その
内容は「平成25年度離島振興関係補正予算及び平
成26年度離島振興関係予算案について」であり、
説明側として国土交通省国土政策局長や大臣官房
審議官をはじめ、総務省、農林水産省、文部科学
省、経済産業省、環境省、内閣府、厚生労働省、
防衛省からの課長等の出席がありました。

昨年末から新たに離島振興特別委員会事務局長に就任した島根県選出の青木一彦先生の司会進行の元、新会長になられた長崎県選出の谷川弥一先生をはじめ、出席された多くの国会議員の皆様から、各省庁に対し来年度離島関係予算への切り込んだ意見もあり、活発に質疑応答が繰り返されました。この委員会のように、国政においてもテレビに映らない所で多くの議論が交わされている事は言うまでもありません。

えひめトップミーティングの前日に、公表された愛媛県の平成26年度当初予算案には、岩城橋建設事業費として取付高架橋の詳細設計や用地測量費として9,100万円が盛り込まれており、「ゆめしま海道」の終着点でもある上島架橋岩城橋は、実現に向けて着実に進行しております。

また、知事特別枠対象事業の「瀬戸内しまのわ2014」、「愛媛マルゴト自転車道整備」、「しまなみ海道国際サイクリング大会」、「国体市町など競技施設整備補助金」については、上島町の平成26年度当初予算案と直結しております。

「瀬戸内しまのわ2014」については、桜まつりやふるさと夜市はもちろんのこと、瀬戸内しまのわ2014に向けて、上島町をPRするためガイドブック、グルメマップ及びサイクリングマップなど過疎債を充てた観光パンフレットの増刷や、過疎債と市町振興協会助成金を充てた合併10周年記念事業、辺地債を充てた海の駅舎整備事業を計上しております。

「愛媛マルゴト自転車道整備」については、既に認定を受けているファミリールコースの生名島・佐島・弓削島3島めぐりコースについて、サイクリストをわかりやすく誘導するため、愛媛県が県道にブルーラインを引いたり、コース案内板の整備を行います。それに併せて上島町では町道・農道の整備を行ってまいります。

本年10月26日に開催され、世界から注目されている「しまなみ海道国際サイクリング大会」については、上島町も8コースある中の1つに選ばれています。世界のサイクリストから、上島町のコースを選んで良かったと思っていただけるよう

に、魅力ある演出とおもてなしをしなければなら
ないと考えています。

また、上島町においても、安全の向上と「瀬戸内しまのわ2014」の気運を醸成するため、自転車安全利用条例の制定や自転車ヘルメット購入費補助事業を実施する計画にしております。

先人達が上島町の発展のため、その時代に合わせた政策を適宜適切に、しかも伝統を守りながら変化をさせていったように、国や県の動向に注視しながら、この大きな流れをアグレッシブに推進して行かなければならないと思っております。

3月2日に開催された「いきなマラソン」には全国から大勢のランナーが参加していただいたばかりでなく、愛媛県知事自らがハーフの部に出場されました。他にも副知事や多くの県庁職員が参加され上島町を気持ちの部分でも支えてくれています。この小さな町への細かい配慮に應えるためにも、今後も上島町は「チーム愛媛」の一員として同じ歩みを続けなければならぬと考えています。

今回の大イベントの主役は行政でも主催者でもなく、町民であり住民の皆さんです。未来の主役達に誇るためにも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、まちづくり懇談会等で協力をお願いをしていた弓削高校については、関係者の努力と町民の皆様のご支援のお陰で、昨年度の倍以上となる入学志願者が集まってくれました。

また、補助金で議会にご理解をいただいたサービス付き高齢者住宅の申し込み者も、想像を超える件数になっていると聞いています。

弱い立場の人達に春風のような暖かい風を送り続けてくれている上島町民の皆様は、心からの感謝を申し上げ、明日の3月11日が東北地方大震災で被災された皆様にとって、真に暖かい春の訪れの日になりますことを祈念いたします。



第27回いきなマラソン

各議案の主な内容 及び議決結果

条例議案

■上島町し尿処理場条例を廃止する条例

上島町し尿処理場の稼働を停止したことに伴い、関係規定を廃止する必要があるため。

— 原案可決 —

■上島町し尿処理場使用料徴収条例を廃止する条例

上島町し尿処理場の稼働を停止したことに伴い、関係規定を廃止する必要があるため。

— 原案可決 —

■上島町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例

認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関し、関係規定を制定する必要があるため。

— 原案可決 —

■上島町企業誘致促進条例

上島町における企業誘致の促進を図るため、関係規定を制定する必要があるため。

— 原案可決 —

■上島町岩城西部海水浴場施設条例

上島町岩城西部海水浴場施設の整備に伴い、関係規定を制定する必要があるため。

— 原案可決 —

■上島町消防長及び消防署長の資格を定める条例

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、上島町消防長及び消防署長の資格を条例で定める必要が生じたため。

— 原案可決 —

■上島町弓削総合庁舎内食堂施設条例の一部を改正する条例

社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本

的な改革を行うための消費税法等の一部を改正する等の法律（平成26年4月1日施行）に伴い、関係規定を整備する必要があるため。

― 原案可決 ―

■上島町特別会計条例の一部を改正する条例

住宅新築資金等貸付事業会計を廃止することに伴い、関係規定を整備する必要があるため。

― 原案可決 ―

■上島町岩城総合運動場条例の一部を改正する条例

岩城体育館耐震補強工事により、2階和室を取り壊したことに伴い、関係規定を整備する必要があるため。

― 原案可決 ―

■上島町保育所条例の一部を改正する条例

定員の見直しに伴い、関係規定を整備する必要があるため。

― 原案可決 ―

■上島町定住促進住宅条例の一部を改正する条例

別表中の家賃の記載事項の字句を改正することに伴い、関係規定を整備する必要があるため。

― 原案可決 ―

■上島町営住宅条例の一部を改正する条例

道路改良による分筆及び合筆により町営住宅の位置を変更することに伴い、関係規定を整備する必要があるため。

― 原案可決 ―

■上島町簡易水道事業条例の一部を改正する条例

上島町魚島簡易水道事業と上島町高井神簡易水道事業の統合に伴い、関係規定を整備する必要があるため。

― 原案可決 ―

補正予算議案

■平成25年度上島町一般会計・特別会計（9会計）
《全10議案》

― 原案可決 ―

■一般会計

【補正額】▲1億5200万円

【総額】68億600万円

■特別会計

国民健康保険	国民健康保険	国民健康保険診療所	後期高齢者医療	公共下水道	簡易水道	介護保険	浄化槽	生名船舶	特別養護老人ホーム
総額	補正額	総額	補正額	総額	補正額	総額	補正額	総額	補正額
5600万円		12億9900万円	▲150万円	6440万円	▲330万円	4億500万円	▲90万円	3750万円	▲240万円
総額	補正額	総額	補正額	総額	補正額	総額	補正額	総額	補正額
2億9450万円	150万円	2億3400万円	内容変更のみ	3610万円	▲240万円	7億2680万円	▲240万円	2億3400万円	150万円

その他の議案

■辺地に係る総合整備計画の変更について

本町の総合整備計画について、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和37年法律第88号）第3条

の規定に基づき、変更する必要があるため。

― 原案可決 ―

■工事請負契約の締結について

●魚島地域交流施設建築工事

【契約方法】 随意契約

【契約金額】 1億9740万円

【契約の相手方】

今治市南宝来町三丁目四番地の五

株式会社 河上工務店

代表取締役 河上 亮一

― 原案可決 ―

■魚島地域交流施設建築工事請負契約の一部変更について

【契約金額】（変更前）1億9740万円

（変更後）2億304万円

― 原案可決 ―

当初予算議案

■平成26年度上島町一般会計

【総額】71億8326・2万円

― 修正部分を除く原案可決 ―

（※海の駅舎・旧消防庁舎解体工事業予算 127

2・4万円、蛙石野球場関連予算1億3501

4万円が削除されたもの）

■平成26年度特別会計（15会計）

― 原案可決 ―

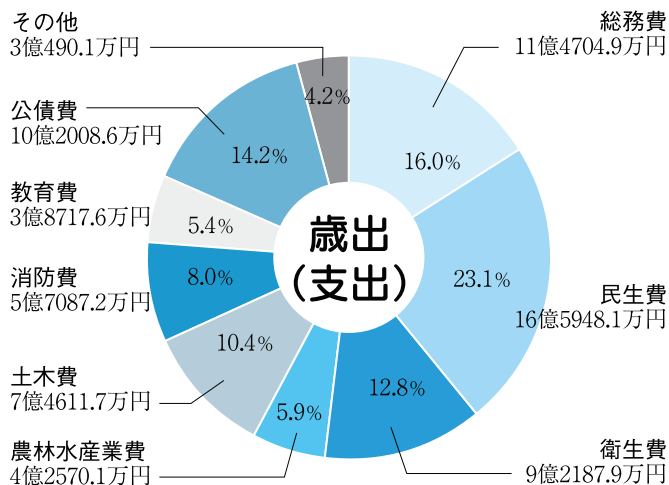
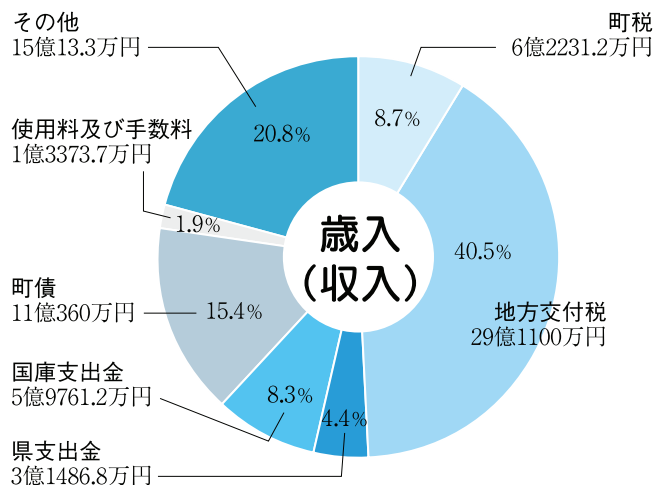
前記のとおり、平成26年度上島町議会第1回定例会において、一般会計予算（町の主な収入・支出を総合的に管理する会計）と国民健康保険事業会計など15の特別会計予算（特定の事業を特定の資金で運用する会計）が可決成立しました。ここでは、特に町民の皆さんの生活に関連の深い一般会計の内訳等をお知らせします。

平成26年度予算総合計

112億9719.2万円（前年度 100億1426万円）

一般会計 71億8326.2万円

（前年度 62億9300万円）



特別会計等 41億1393万円（前年度 37億2126万円）

会 計	予 算 額
国民健康保険	12億3800万円
後期高齢者医療	1億4300万円
国保診療所	6500万円
へき地出張診療所	920万円
公共下水道	3億8640万円

会 計	予 算 額
簡易水道	4980万円
C A T V	1億7800万円
農業集落排水	6930万円
介護保険	7億8500万円
介護サービス	4070万円

会 計	予 算 額
浄化槽	3640万円
生名船舶	2億2700万円
魚島船舶	1億5500万円
特別養護老人ホーム	3億8500万円
上水道	3億4613万円

平成26年度 主要工事箇所

①生名地区社会資本整備総合交付金事業（稲浦幹線） 3000万円

②岩城地区社会資本整備総合交付金事業 1億2640万円
（高原積善山線、緊畑2号線、積善山整備事業、西部海水浴場整備事業）

③弓削地区社会資本整備総合交付金事業（佐島循環線、救急艇整備） 3億7500万円

④防災安全交付金事業（町道舗装修繕事業） 3000万円

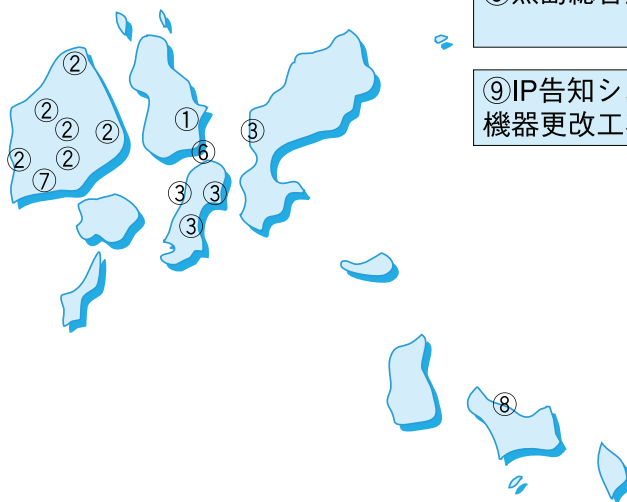
⑤【漁港関係】
●津波・高潮危機管理対策緊急事業（弓削） 3900万円
●津波・高潮危機管理対策緊急事業（岩城） 3100万円
●水産物供給基盤機能保全事業（岩城） 4100万円
●水産物供給基盤機能保全事業（魚島） 2300万円

⑥佐島地区がけ崩れ防災対策事業 600万円

⑦岩城保育所整備事業 5億537.9万円

⑧魚島総合庁舎改築事業 700万円

⑨IP告知システムサーバー機器更改工事 8964万円



国庫補助事業

県補助事業

県営事業

町単独事業